

令和4年度第6回座間市社会教育委員会会議録

会議の名称	令和4年度第6回座間市社会教育委員会会議		
開催日時	令和5年3月15日(水)		
開催場所	座間市役所 5階 5-2会議室		
出席者	大串議長、小池副議長、峰尾委員、小多喜委員、赤羽委員、浦委員		
事務局	安部スポーツ課長、市嶋青少年課長、飯田図書館長 吉野生涯学習課長、淀川副主幹兼生涯学習係長、河野生涯学習係主事		
会議の公開可否	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開	傍聴者数	0人
非公開又は一部公開とした理由	—		
議題	1. 経過報告と今後の事業について 2. 令和5年度社会教育関係団体補助金交付について(意見聴取) 3. 令和4年度神奈川県社会教育委員連絡協議会第3回理事会について(報告) 4. 令和4年度神奈川県社会教育委員連絡協議会地区研究会(箱根町会場)について(報告) 5. 生涯学習プランについて(報告) 6. 研究テーマ「高齢者の生涯学習」について		
資料の名称	資料1. 第6回座間市社会教育委員会会議経過報告 資料2. 月間行事予定表 資料3. 令和5年度社会教育関係団体補助金交付調書 資料4. 令和4年度神奈川県社会教育委員連絡協議会第3回理事会 資料5. 令和4年度神奈川県社会教育委員連絡協議会地区研究会「箱根町会場」 資料6. 座間市生涯学習プラン(令和5~12年度)		
会議の結果			
研究テーマの研究方法については、議長が案をまとめ、次回の会議で提案する。			

議事の概要

(1) 経過報告と今後の事業について 資料1、2

生涯学習課長：資料1、2について、今回の会議から、内容の読み上げは省略する。事前に議長、副議長に確認し、了承を得ている。時間をとるので、各自読んでいただきたい。

大 串 議 長：質問がある委員はいるか。

青少年課長：3月18日（土）ジュニアリーダーズクラブ閉講式は19日（日）に変更となったので訂正いただきたい。

小池副議長：2月4日に実施された市民写真展と、写真展美しい座間の詳細を伺いたい。

生涯学習課長：市民写真展は座間市写真連盟と当課の共催で、ハーモニーホール座間ギャラリーにて開催した。写真展美しい座間は、当課主催で、ハーモニーホール座間常設展示室で開催した。

(2) 令和5年度社会教育関係団体補助金交付について（意見聴取）資料3

生涯学習係長：社会教育活動に関する補助金は、社会教育法により委員に意見を聴取することになっているため、この場で意見をいただきたい。

小池副議長：額に増減が生じている箇所について説明いただきたい。

生涯学習課長：公益財団法人管理に対する市補助金については、必要経費が増えたことに伴い、補助金の額も増額している。

青少年課長：青少年健全育成組織運営補助金については、交付をしていた団体が解散したことにより、減額となった。

大 串 議 長：どの団体が解散したのか。

青少年課長：相模野小学校の青少年健全育成の団体である。

大 串 議 長：どのような理由か。

青少年課長：活動内容が、コミュニティスクールに移行するためだと聞いている。

大 串 議 長：本調書には、社会教育関係団体以外の補助金も記載されているのか。

生涯学習係長：本調書は、社会教育関係団体に関する補助金のみ記載している。

～スポーツ課長、青少年課長、図書館長退席～

(3) 令和4年度神奈川県社会教育委員連絡協議会第3回理事会について（報告）

資料4

大 串 議 長：令和5年度神奈川県社会教育委員連絡協議会総会について、記載のとおり

り開催される。

生涯学習係長：令和7年度第56回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会概要（案）について、徐々に話題が出てきている。今後、注意しておく必要がある。

大 申 議 長：組織図（案）に記載されている実行委員会について、計73名とあるが、構成はどのようになっているか。

生涯学習係長：議長や担当職員で構成されるものと想定するが、詳細等は不明である。また、本理事会の会議録が送付されたため、資料の最後に添付している。確認願いたい。

（4）令和4年度神奈川県社会教育委員連絡協議会地区研究会（箱根町会場）について

（報告）資料5

大 申 議 長：私と生涯学習係長が出席した。人権講話は、子どもの人権について。講師の瀧本氏は、教員の経験があり、現在はスクールソーシャルワーカーとして活躍されている。実際に子どもの問題に取り組まれていた経験があることから、非常に説得力のある内容であった。

生涯学習係長：前半は議長が報告したとおり。問題を抱えている子どもの、対応の難しさなどを再認識することができる内容であった。事例発表の（1）明星展の取り組みは、地域と学校との繋がりに関する話だった。（2）仙石原文化センターまつりは、昔は盛り上がっていたが、近年は参加団体が少なくなり、まつりの開催を継続していくことの難しさについての内容だった。当市もそのような部分が見受けられるため、全国的な共通課題ということを確認した。

（5）生涯学習プランについて（報告）資料6

生涯学習係長：2月の定例教育委員会で議案を提出し、可決された。本プランは4月から施行される。以前お渡しした素案から、大きな修正はない。パブリックコメントに関して、細かい内容を求める意見が多かったが、本プランは方向性を定めるものであるため、意見を受け止めるまでの対応となった。社会教育委員の皆様には協力いただき感謝している。

大 申 議 長：公共施設に配架されるか。

生涯学習係長：その予定はなく、市ホームページなどに掲載する予定である。

～5分間休憩～

(6) 研究テーマ「高齢者の生涯学習」について

大 申 議 長：高齢者の生涯学習といっても広い分野になるため、まず、その中で研究したい内容があれば発言いただきたい。

小 池 副 議 長：どのような団体に話を聞きたいのか、どのような研究をしたいのか。以前に配布した一覧表に記載されている団体で、興味がある団体があれば、私から、団体に本会議への出席を依頼することが可能である。

生涯学習係長：まずは、目的、対象、研究内容を検討すべきである。範囲が広すぎると収集がつかなくなるため、年齢層も気にするべきか。以前の会議で話題に出たが、引きこもっていた人が外に出るようになったきっかけや、シルバー世代の方がどのような活動をしているかなど。

大 申 議 長：高齢者といっても、年齢の設定はどうするか。

小 多 喜 委 員：高齢者の定義は65歳とされているが、まだまだ元気な印象がある。

浦 委 員：サラリーマンが定年退職し、再雇用の期間が終わるのが65歳である。

小 池 副 議 長：表14. シニアライフ（会員年齢層80代以上）に記載の、白寿会さのみ野クラブなど、入会条件は60歳以上に設定している。

大 申 議 長：高齢者というと、何歳くらいを想像するか。

峰 尾 委 員：70代くらいなのでは。

赤 羽 委 員：生涯学習プランのアンケートに記載されている団体調査には、参加者は70代が多くを占めている。定年が延長される件もあり、70歳位が高齢者という認識になるのではと考える。団体の活動場所等で、なぜ加入したか、どこで講座の情報を知ったかなどを伺うのが良い。ある特定の分野の団体などではなく、一般の方で構成されている団体などを対象にするのが良いと思う。

生涯学習係長：それに併せて、ある程度誰でも参加しやすい団体を対象とするのが良いのでは。

大 申 議 長：他の委員はどう考えるか。

小 多 喜 委 員：高齢者の年齢幅は、ある程度絞るべきである。その中でも、動ける人と動けない人がいると想定できるため、4～50人くらいを対象に調査するのが良いのでは。例えば、定年退職後、地域活動を始める人が多そうな70歳代くらいのサークルなどを対象にするのはどうか。

峰 尾 委 員：まず目的をどうするか。家に引きこもりがちな方に外に出てもらいたいのか、または高齢者でサークル活動をしている人を対象にするのか。知り合いが老人ホームに入所しているが、自分が書道の見本をその方に渡して、後日完成したものを取りに行く。先生に添削してもら

い、またその方に作品を返却することをしている。その方は市の書道展にも出展することができている。このようにサポートする人が周りにいれば、施設に入っているだけでも活動することができる。

生涯学習係長：峰尾委員の話のとおり、サポートがあれば活動できる事や、運転ができない、健康問題などの高齢ならではの課題は良く耳にする。どこに論点をもって来るか、方向性を決める必要がある。

赤羽委員：どの団体であっても課題はある。長続きするためにはどのような工夫をしているか、などはどうか。

生涯学習係長：団体会員の高齢化に伴う苦労や、引きこもりの方がどのようなきっかけで団体に加入することを決めたのか、あるいは両方の論点を盛り込むこともできると思うが。ある程度論点を絞った上で、団体の規模を指定して研究を進めるのが良いと思う。

小池副議長：サークル団体と言っても多種多様である。それに加入している人の多くは趣味の一環で加入している。そのような目的ではない老人会に話を聞くのが一番早いか。また、サポートセンターに登録している団体が講師となり、パソコン教室、絵手紙、手話などの講座を開設する。この事業に参加したいと思う方がどのくらいいるかを調査する。併せて、団体交流会を実施する。以前はテーマを決めていたが、今回は決めずに開催した。活動内容がまったく違う団体同士が繋がり、一緒に活動したいと思った団体同士が繋がった。ざっとガイドを各所に配布しているが、それを手にとるところまでいかない人もいる。

大串議長：私が、今までの議論をまとめたものを作成し、次回の会議時に提案する。よろしいか。

→委員一同賛成

【次回会議 令和5年5月17日（水）10時～ 市役所 5-2会議室】